

# 平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

長崎県

行事名称	第62回文化財防火デー 東山手洋風住宅群（7棟）消防訓練
実施期間・日時	平成28年1月26日（火）10:00～10:30
実施場所	東山手洋風住宅群（7棟）
主催者	長崎市中央消防署、長崎市文化財課

## ■実施内容

### 訓練の想定

- ・市指定有形文化財東山手洋風住宅群（7棟）のうちC棟（地球館）の附属屋（調理場）から出火
- ・出火の原因は調理場の火の不始末

### 訓練の内容

- ・市指定有形文化財東山手洋風住宅群（7棟）のうちB棟（東山手保存センター）受付が火災発見、通報、初期消火、観光客の避難誘導訓練を実施した。

### 参加者及び役割分担

B棟（東山手地区町並み保存センター）	1名：火災発見、初期消火、避難誘導
D～G棟（古写真資料館・埋蔵資料館）	1名：119番通報、避難誘導
東山手地区町並み保存会	3名：観光客役
長崎市中央消防署	2名：全体統括、講評、消火器の扱いの説明
長崎市文化財課	2名：現場立会い、記録

### 特に工夫した点

7棟のうち、2棟にしか受付担当者がいないため、電話で連携をとりながら実施した。

### 問題点・課題

建物が木造建築のため、火災が起きると消火するのが困難。火災を出さないという事前の注意や工夫が必要。7棟あるうち、通常2～3名しか配置されておらず、場所も離れているため、声掛けや電話で連携をとる必要がある。日頃から万一の場合に備えて、動作や連携の確認、緊急連絡網を作成しておく必要がある。

### その他

文化財を火災から守るために、毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

### 訓練風景



通報の様子



避難の様子



消火器使用の練習